

Clavis

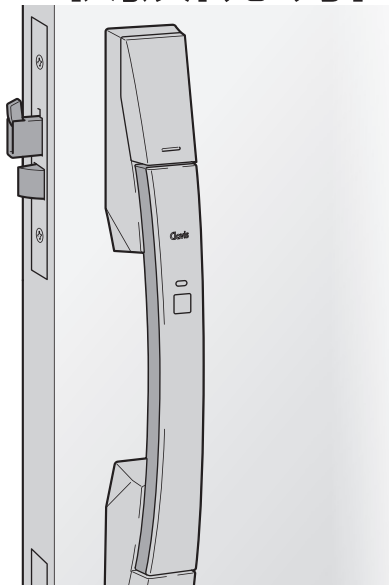
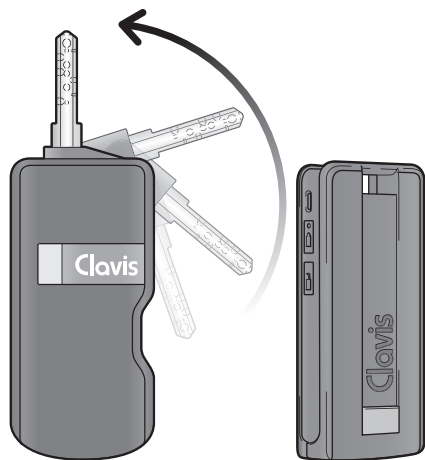


電気錠システム

電池錠システム

Tebra plug Tebra cell

取扱説明書



■電気錠システム

■電池錠システム

	Tebra plug A
--	--------------

	Tebra cell A
--	--------------

※ 表はおお客様のご住居に設定されている電気錠・電池錠システムおよびオプションの種類です。
該当する部分のみ、お読みください。

■オプション：警備連動機能

※ Tebra plug には、警備連動機能が設定された仕様もございます。製品仕様については、本書末尾の保証書に記載のサービス代行店へご確認ください。

保存版

- このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
- 製品を末永く安全にお使いいただくために、「お使いになる前に」を必ずお読みください。
- 取扱説明書はいつでもお読みになれるように、大切に保管してください。

目次

お使いになる前に

安全上のご注意	1
電気錠・電池錠システムの取り扱い	1
TFカード（カードキー）の取り扱い	3
錠前の一般的な取り扱い	3
2ロックセキュリティ機能	4
ハンズフリーキーのスリープ機能	4
盗難・悪用防止のために	5
お手入れについて	5
各部の名称	6

使用方法

ハンズフリーキーについて	8
ハンズフリー操作による施錠／解錠	9
非接触キーについて Tebra plug A Tebra cell A	10
タッチ操作による施錠／解錠 Tebra plug A Tebra cell A	11
Tebra 認証キーの登録方法	12
警備連動機能について Tebra plug A オプション	16

お困りのときは




本体の電池切れ警告について Tebra cell A	18
本体の電池交換 Tebra cell A	19
ハンズフリーキーの電池切れ警告について	20
ハンズフリーキーの電池交換	21
本体の電源供給の特性	22
Tebra 認証キーを紛失した場合	23
電池切れ・停電で作動しない場合	23
故障かな？とお考えになる前に	24
仕様	28
保証書	29

安全上のご注意

ここでは次の説明をしています。ご使用前に必ずお読みください。


- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたいこと
- 電気錠・電池錠システム特有の留意事項


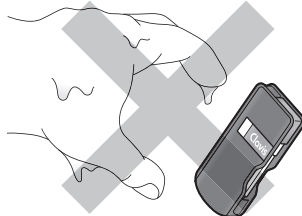
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負ったり財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お使いになる前に

電気錠・電池錠システムの取り扱い

 危険	植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着されている方が使用する場合は、リーダ部（ 6ページ ）から植込み型医療機器の装着部位を22cm以上離して使用してください。 また、電波による医療用電気機器への影響については、担当医師や医療用電気機器製造業者などにご確認ください。
--	--

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 精密な電子部品などを使っていますので分解や改造をしたり、強い衝撃を与えないでください。 感電や故障の原因となります。また、分解・改造した物は保証対象外となります。● Tebra 認証キー（7ページ）を水に濡らしたり、濡れた手で扱わないでください。 感電や故障の原因となります。● 散水による水洗いは避けてください。 また、雨露の直接かからない場所でお使いください。 感電や故障の原因となります。	
--	--	---

 注意	<ul style="list-style-type: none">● 作動中（サムターンの回転中）およびブザーが鳴っている間は、ハンドル・サムターンを操作しないでください。 作動完了前（ブザーが鳴り終わる前）にハンドル・サムターンを操作すると故障の原因となる場合があります。● 仮に、作動完了前にサムターンを操作した場合、サムターンが重くなってしまふ可能性があります。その際は、サムターンの上下のボタンを指でしっかりと押した状態で回してください。	
--	---	--

電気錠・電池錠システムの取り扱い（続き）

●複数の Tebra 認証キーを同時に使用すると、作動・反応が遅くなったり、作動しない場合があります。

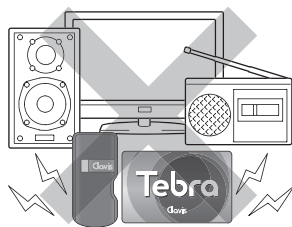
●高温を避けて保管してください。

Tebra 認証キーの変形、破損、読み取り不良の原因となります。車の中に長時間放置したり、車のダッシュボードなど、直射日光下で高温になるような場所に Tebra 認証キーを置かないでください。

● Tebra 認証キーを電化製品の近くに放置したり、磁石（磁性のある物を含む）に近づけないようにして下さい。読み取り不良や著しい電池消耗の原因となります。

例：影響のある主な電化製品＜常時 1 m 以上離すのが望ましいもの＞

テレビ、ラジオ、スピーカー、パソコン、電磁調理器、電気スタンド、充電中のコードレス電話機および携帯電話、医療用電気機器など



●停電時および電池切れ時は使用できません。停電時および電池が切れたときは手動操作でロックを施錠／解錠してください。（23 ページ）

●温泉地など特殊ガス発生地域、浴室などの多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。

●電池切れ警告が現れたら速やかに新しい電池と交換してください。また、電池切れ警告が現れなくても、本体は 1 年ごと、ハンズフリーキーは 2 年ごとに新しい電池と交換してください。（18～21 ページ）

- ・電池は指定の電池をご使用ください。
- ・電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- ・電池の消耗時には、作動範囲が狭くなる場合があります。

●玄関ドア周辺の電波環境（各種電気機器・ノイズなど）により、ハンズフリーキーの作動範囲が変わる場合があります。

ハンズフリーキーを携帯電話などと一緒に携帯しているときやハンズフリーキーが金属製のものに覆われたりしているときは、正常に作動しないことがあります。

●ハンズフリーキーが完全に静止していると、スリープ機能により施錠／解錠ができなくなります。（4 ページ）

少し揺らしながらご使用ください。

●航空機にハンズフリーキーを持ち込む場合は、航空機内でハンズフリーキーのボタンを押さないでください。また、カバンなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。

ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

●ドアが開いた状態でも施錠／解錠操作が可能ですが、ドアを開けたまま施錠／解錠操作しないでください。

施錠状態でドアを閉めるとドア枠を傷付けるおそれがあります。



注意



注意

TF カードを折り曲げたり、擦ったり、また強い衝撃を与えないように保管・携帯してください。

TF カードの破損や読み取り不良の原因となります。

錠前の一般的な取り扱い

- キーによる操作を長期間行わない場合、ホコリ等の影響でシリンダーの作動が悪くなる場合があります。1 か月に 2 ～ 3 回程度、キーによる操作を行ってください。
万が一作動が悪くなっている場合は 5 ページに掲載されております「お手入れについて」をご参照ください。

- 鍵穴に異物 (針金やマッチ棒など) を入れないでください。
異物が詰まるとキーの操作ができなくなります。

- 錠のフロントプレートやストライク表面に保護シールが付いている場合は、必ずはがしてください。

そのまま放置すると、保護シールについている糊などの影響でサビが発生したり変色することがあります。

- コピーしたキーは使用しないでください。

キーの抜き差しや回転操作が悪くなり、シリンダーに悪影響をおよぼすおそれがあります。キーの追加購入については、マンション引き渡し書類の中でご案内している別紙『キーのアフターについて』に記載のサービス代行店までお問い合わせください。

- 施錠したときはハンドルを操作して確実に鍵がかかったことを確認してください。

- 経年劣化により戸先の垂れ下がり、ソリ、曲がり、歪みなどが生じて枠と接触し、錠がスムーズに動かない場合があります。

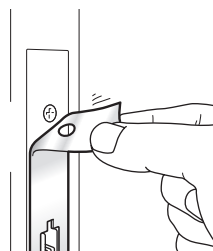
ドア全体の修理が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社、施工業者または建具メーカーに連絡してください。

- 換気扇などの機械換気を行ったまま外出される場合は、換気口を必ず開けてください。

開けていないと、室内の圧力差によって玄関ドアが室内側に引っ張られるため、Tebra 認証キーによる施錠／解錠ができなくなることがあります。

- Tebra キーのアナログキーを取り出すとき・もどすときは必ず鍵操作ボタンを押してください。(7 ページ)

無理に取り出し・もどす操作を行うと、破損の原因となります。



注意

2 ロックセキュリティ機能

以下の機能はピッキングなどによる不正解錠を完全に防止するものではありません。
万が一の場合の保証はございませんので、ご了承ください。

上下連動／子どもの閉じ込め防止機能

解錠状態時、上側のロックをキーまたはサムターンで手動施錠すると、下側のロックも連動し施錠されます。

- 次の場合は、連動して施錠されません。
 - ・ 下側のロックをキーまたはサムターンで手動施錠した場合
 - ・ 停電時 (Tebra plug)、電池が切れた場合 (Tebra cell)
- 連動施錠している間は、サムターンを操作しないでください。
仮に、サムターンを操作した場合、サムターンが重くなってしまう可能性があります。
その際は、サムターンの上下のボタンを指でしっかり押した状態で回してください。
- 施錠操作を素早く繰り返すと連動して施錠されない場合があります。間隔をあけてから、操作してください。

ハンズフリーキーのスリープ機能

ハンズフリーキーを6秒以上、静止状態で保持すると、電池の消耗を防ぐためにスリープ機能が働きます。

- スリープ機能が働いたハンズフリーキーは、作動範囲内であってもハンズフリー操作ができなくなります。

スリープ機能の解除

ハンズフリーキーを少し揺らしてください。



盗難・悪用防止のために

- 施錠忘れによる盗難を防ぐため、施錠の確認は必ず行ってください。
- Tebra 認証キーまたはキーには、使用場所が分かる表示は付けないでください。紛失したときに悪用されるおそれがあります。
- 普段お使いにならない Tebra 認証キーまたはキーは、使用時以外、大切に保管してください。
- Tebra タグ / Tebra one タグ / TL タグ / ToneL タグ / TF カードをご使用の方は、機器の故障、電池切れ・停電などに備え、必ずキーを持参してください。

お手入れについて

長期間、清掃しないままにしておくと、表面に付着した汚れはシミや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

- 清掃は少なくとも月に 1 ～ 2 回程度、実施してください。
- 特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

お手入れ方法

製品の損傷、サビ、腐食、変色などを防止するため、次の方法で実施してください。

1 柔らかい布でやさしく乾拭きしてください。

強くこすらないでください。

2 落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を薄めた液を柔らかい布またはスポンジにしみ込ませてからよく絞って拭き取ってください。

- 洗剤の成分が残らないよう、十分に拭き取ってください。
- 中性洗剤の液や水が製品にかからないようご注意ください。
- サンドペーパー、堅いブラシ、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

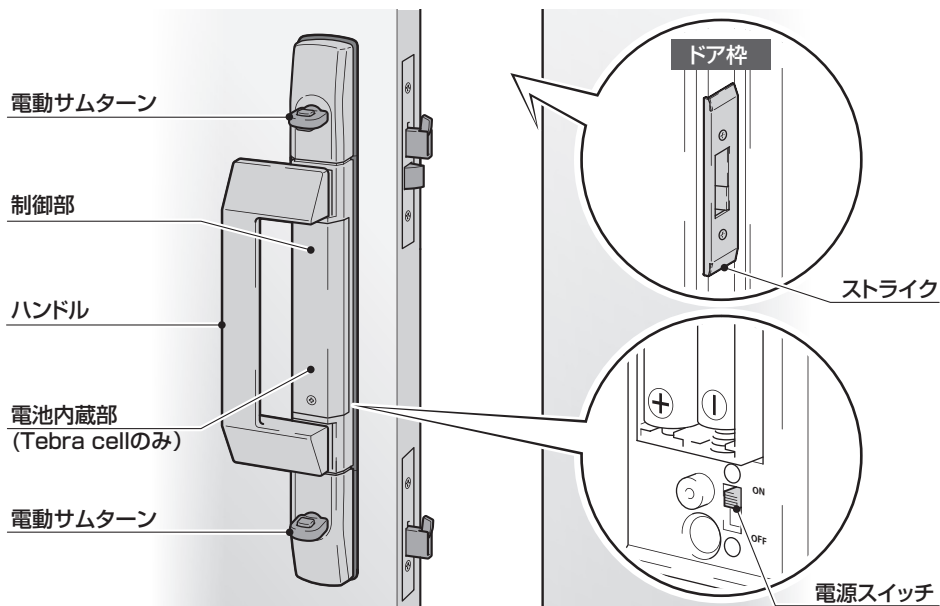


3 キーの抜き差しや回転操作が悪くなったときは、柔らかい芯の鉛筆 (B ～ 4B) の粉や黒鉛粉、またはシリンダー専用の潤滑剤 (粉末タイプ、シリコンを含まないタイプ) を使用してください。

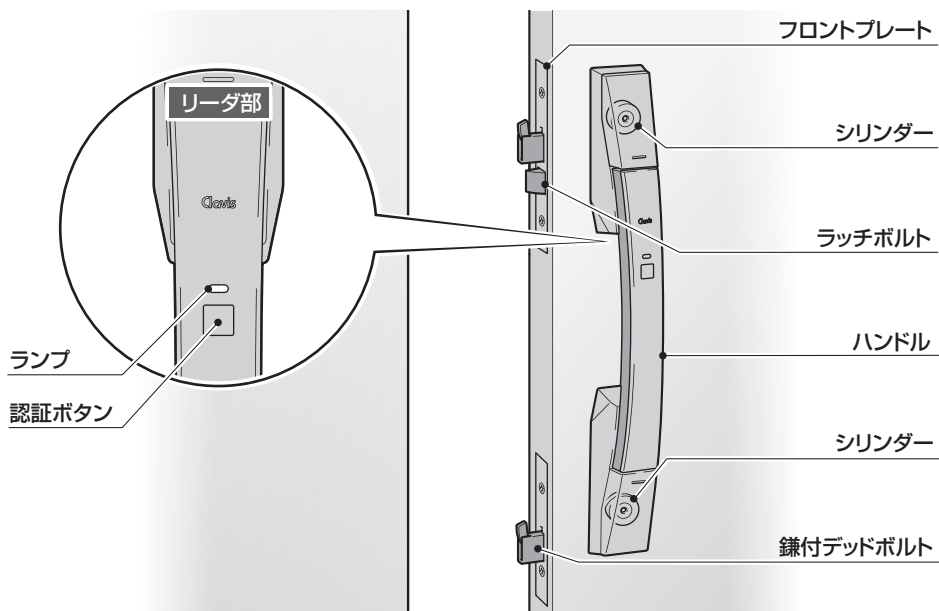
- 鉛筆を使用する場合は、キーの切り込み面を鉛筆でなぞった後、キーで抜き差しを数回行ってください。
- 鍵穴には絶対に油を差さないでください。注入直後は操作が良好でもホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。
- シリコンを含む潤滑剤を使用しないでください。故障の原因となります。

各部の名称

ドアまわり部品 (室内側)



ドアまわり部品 (室外側)

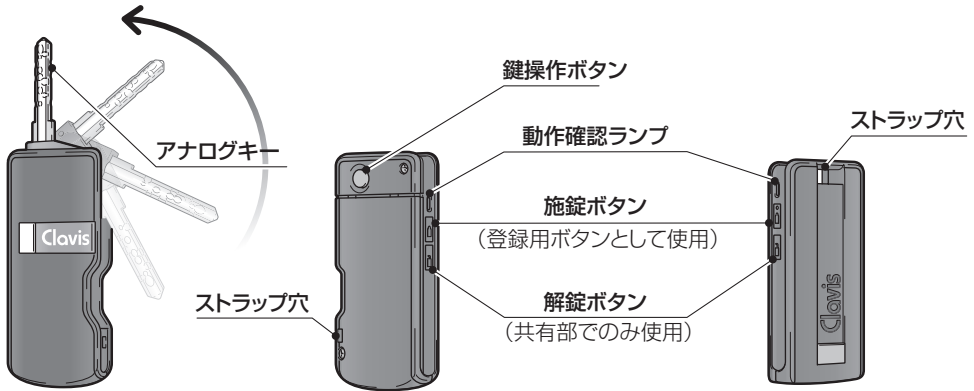


Tebra 認証キー

ハンズフリーキー

Tebra キー、Tebra one キー

Tebra タグ、Tebra one タグ



- ハンズフリーキーとは、Tebra キー / Tebra one キー / Tebra タグ / Tebra one タグの総称です。
- アナログキーを出すときは、鍵操作ボタンを押します。
- 使用後は、鍵操作ボタンを押しながらアナログキーをTebra キー本体にもどします。無理にもどすと破損の原因となります。
- 施錠ボタンは登録用として使用します。施錠機能としては使用できません。 (14 ページ)

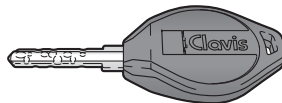
非接触キー

Tebra plug A Tebra cell A

TF カード



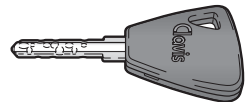
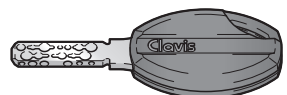
TF キー



TL タグ、ToneL タグ

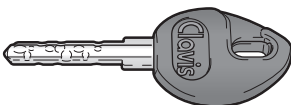


TL キー、ToneL キー



- 非接触キーとは、TF カード、TF キー、TL キー、ToneL キー、TL タグ、ToneL タグの総称です。

キー※



※: 電気的な操作はできません。

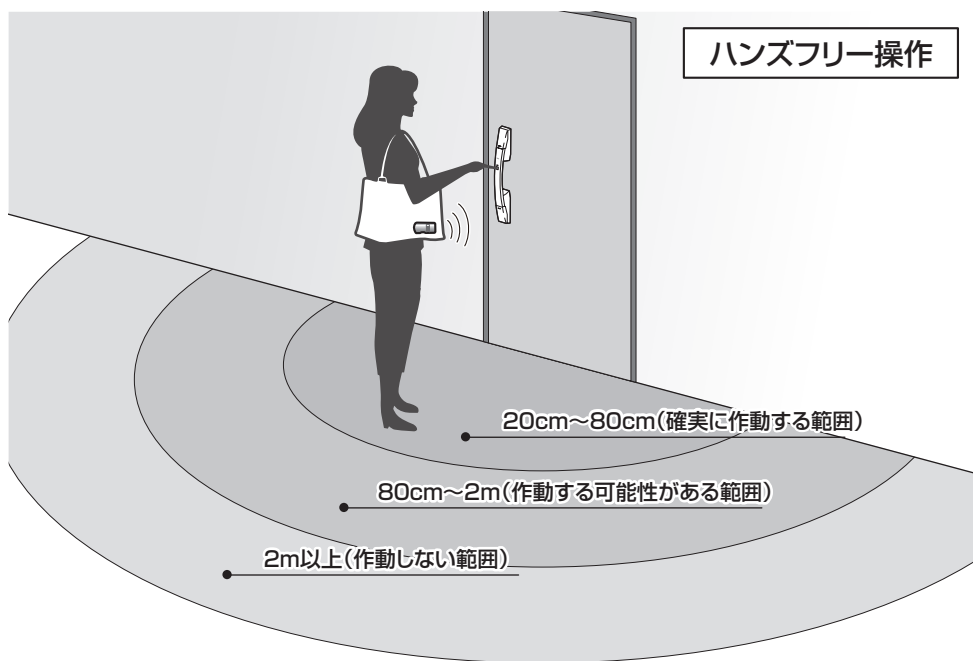
ハンズフリーキーについて

ハンズフリー操作

ハンズフリーキーがリーダ部の作動範囲内※にあれば、ハンズフリーキーをカバンなどに入れたままでもリーダ部の認証ボタンを押すだけで施錠／解錠ができます。

ハンズフリーキーを持ったままリーダ部の作動範囲内※に入り、リーダ部の認証ボタンを押します。

- 動作状況をランプおよびブザーでお知らせします。(9ページ)
- ハンズフリーキーの揺れを検知していないとロックを施錠／解錠することはできません。ロックの施錠／解錠ができないときは、ハンズフリーキーを少し揺らしながらロックを施錠／解錠してください。



※：作動範囲は設置環境によって異なります。

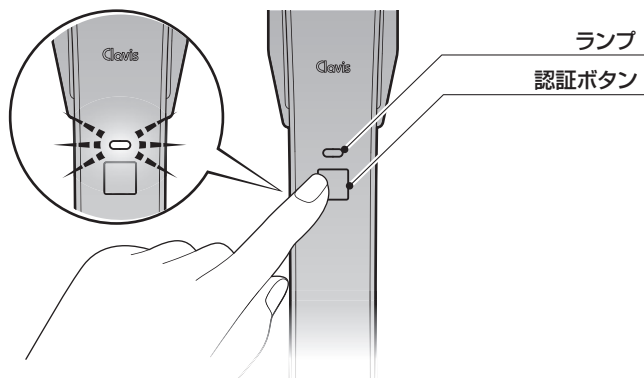
キャンセル機能

室内にあるハンズフリーキーに対して、室外からのハンズフリー操作を無効にし、誤って施錠／解錠されることを防止します。

：防犯性の高い建物部品として官民合同会議試験に合格している機能です。

ハンズフリー操作による施錠／解錠

- 1 ハンズフリーキーを持ったままリーダ部の作動範囲内に入ります。(8 ページ)
- 2 リーダ部の認証ボタンを押します。



- 3 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで動作状況をお知らせします。

動作状況	ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯 (1.5 秒)	ピピッ
解錠 Tebra cell A (本体電池少)	赤色点灯 (1.5 秒) 後、橙色点滅 (3 回)	ピピッ… ピーピー
施錠	緑色点灯 (1.5 秒)	ピッ
施錠 Tebra cell A (本体電池少)	緑色点灯 (1.5 秒) 後、橙色点滅 (3 回)	ピッ… ピーピー
ハンズフリーキー 未認証	赤色点滅 (3 回)	—
ハンズフリーキー 未登録	赤色点滅 (3 回)	ピーピー
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4 秒)	ピー——

- 施錠／解錠 (本体電池少) のときは、早めに本体の電池交換をしてください。そのまま使い続けると電気式施錠／解錠操作ができなくなります。(19 ページ)
- 施錠／解錠異常のときは、再度認証ボタンを押してください。
- 上記以外のランプ点灯／点滅およびブザーが鳴る場合もあります。
- 上下どちらかが施錠しているときは、認証ボタンを押すと解錠します。
- ハンズフリーキー電池少のときは、早めにハンズフリーキーの電池交換をしてください。そのまま使い続けると、ハンズフリー操作による施錠／解錠操作ができなくなります。(20 ページ)

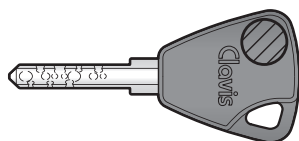
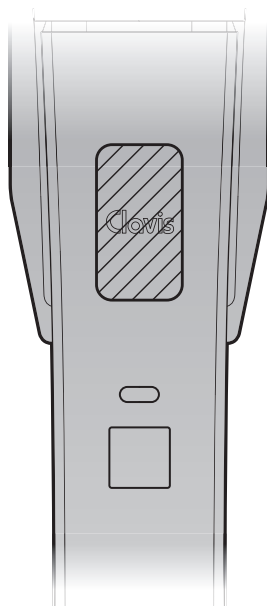
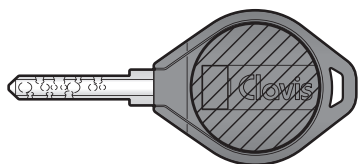
※：ハンズフリーキーは、非接触キーとしてもご使用になれます。ハンズフリーキーに内蔵されたICチップも登録してください。(14 ページ)


※：製品の仕様・時期により非接触操作ができない場合があります。

非接触キーの特性

非接触キーは IC チップを内蔵しており、リーダ部にかざすことで IC チップの情報を認証し、施錠／解錠を行います。

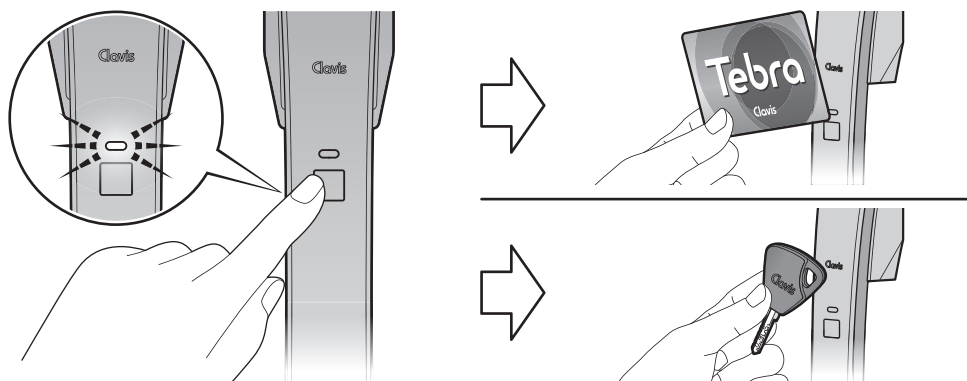
以下の領域でアンテナを形成しています。



 : 認証センサー範囲

1 リーダ部の認証ボタンを押し、非接触キーの認証範囲とリーダ部の「Clavis」マークを目安に合わせてください。

位置がずれ過ぎると認証されず、施錠／解錠ができません。



2 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで動作状況をお知らせします。

動作状況	ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯 (1.5 秒)	ピピッ
解錠 Tebra cell A (本体電池少)	赤色点灯 (1.5 秒) 後、橙色点灯、赤色点灯、 橙色点灯、赤色点灯、橙色点灯	ピピッ… ピーピー
施錠	緑色点灯 (1.5 秒)	ピッ
施錠 Tebra cell A (本体電池少)	緑色点灯 (1.5 秒) 後、橙色点灯、赤色点灯、 橙色点灯、赤色点灯、橙色点灯	ピッ… ピーピー
ハンズフリーキー 未認証	赤色点滅 (3 回)	—
ハンズフリーキー 未登録	赤色点滅 (3 回)	ピーピー
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4 秒)	ピー——

- 施錠／解錠 (本体電池少) のときは、早めに本体の電池交換をしてください。そのまま使い続けると電気式施錠／解錠操作ができなくなります。 (19 ページ)
- 施錠／解錠異常のときは、再度認証ボタンを押してください。
- 認証異常のときは、一度非接触キーをリーダ部の「Clavis」マークから離し、再度非接触キーをリーダ部の「Clavis」マークにかざしてください。
- 上記以外のランプ点灯／点滅およびブザーが鳴る場合もあります。
- 上下どちらかが施錠しているときは、認証ボタンを押し、非接触キーをリーダ部の「Clavis」マークにかざすと解錠します。

Tebra 認証キーの登録方法

この製品は、複数（※1 最大 16 個）の ID 媒体（Tebra 認証キー）を登録できます。
ご使用前に Tebra 認証キーの再登録をおすすめします。

新たに Tebra 認証キーを追加購入した場合は、登録が必要です。その際、既に登録してある ID 情報の抹消が必要です。

※ 1：ただし、ハンズフリーキーおよび非接触キーは、各最大 8 個までです。



注意

- 以下の場合、Tebra 認証キーの再登録が必要です。
 - ・ 紛失した Tebra 認証キーを使えなくする場合
 - ・ 新たに追加購入した Tebra 認証キーを登録する場合
- 再登録には、ID 情報を全て抹消する必要があります。
- お使いになりたい Tebra 認証キーをすべて登録し直すことで、登録作業を行った Tebra 認証キーだけがお使いになれます。
(今までお使いの Tebra 認証キーでも、再登録を行わなかった場合、すべて使えなくなります)

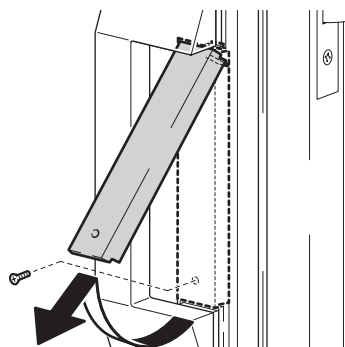
Tebra 認証キーの ID 情報の抹消

1 以下の物をお手元にご用意ください。

- 今までお使いの Tebra 認証キー
- 新規に登録したい Tebra 認証キー

2 室内側から制御部カバーを取りはずします。

ネジを取りはずし、カバー下部を手前にずらします。

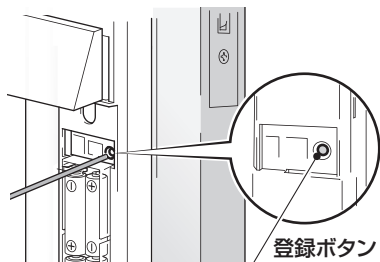


3 ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。

※：ロックを解錠していない状態では、登録作業は行えません。

4 制御部の登録ボタンを2秒以上押し続け、ID登録・抹消モードにします。

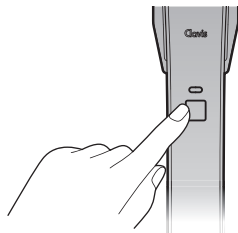
- 先の細い棒状のもので押しください。
- ID登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。
- ID登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。



動作状況	ランプ	ブザー
ID登録・抹消モード開始	緑色点灯 (0.3秒)	ピッ
ID登録・抹消モード中	赤色点滅	—

5 リーダ部の認証ボタンを2秒以上、押し続けます。

“ピッ・ピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。すべてのID情報が抹消されます。(ブザーが鳴る前にボタン操作を中断すると、ID情報が抹消されません)



動作状況	ランプ	ブザー
認証全消去	緑色点灯 (1.5秒)	ピッ・ピピッ

6 制御部の登録ボタンを押し、ID登録・抹消モードを終了します。

- ・ “ピッ”とブザーが鳴り、ID登録・抹消モードが終了します。
- ・ 15秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的にID登録・抹消モードが終了します。
- ID情報が抹消されたTebra認証キーは、そのままでは使用できません。すぐに再登録を行ってください。(14～15ページ)

動作状況	ランプ	ブザー
ID登録・抹消モード終了	—	ピッ

Tebra 認証キーの登録方法 (続き)

Tebra 認証キーの ID 情報の登録

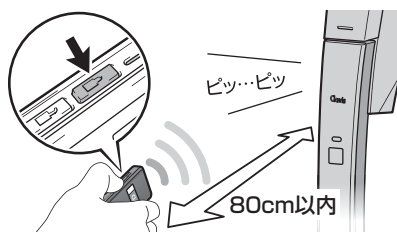
- 1 制御部の登録ボタンを 2 秒以上押し続け、ID 登録・抹消モードにします。
ロック解錠かつドアを開けた状態で行ってください。 (12 ページ)
- 2 Tebra 認証キーの登録をします。

ハンズフリーキー (登録可能 ID キー数 : 最大 8 個)

Tebra cell A、Tebra plug A の場合は、最初にハンズフリーキーに内蔵された IC チップを、非接触キーと同様の方法 (下記参照) で登録・動作確認を行ってください。

リーダ部の登録検知範囲内 (約 80cm 以内) で、登録するハンズフリーキーの施錠ボタンを 2 秒以上、押し続けます。

- ・ “ピッ…ピッ” とブザー※が鳴るまでハンズフリーキーを登録検知範囲外に出さないでください。
- ・ 施錠ボタンを押したハンズフリーキーのみ登録されます。(ブザーが鳴る前にハンズフリーキーを登録検知範囲外に持ち出すと、認証されません)

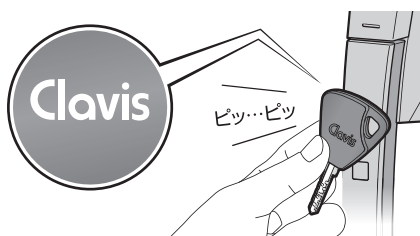


非接触キー (登録可能 ID キー数 : 最大 8 個)

リーダ部の「Clavis」マークに、登録する非接触キーを 2 秒以上、かざし続けます。

※ : キーの認証センサー範囲をご確認ください。 (10 ページ)

- ・ “ピッ…ピッ” とブザー※が鳴るまで非接触キーを「Clavis」マークから約 1cm 以上、離さないでください。
- ・ かざした非接触キーのみ登録されます。(ブザーが鳴る前に非接触キーを「Clavis」マークから離すと、認証されません)



※ : 登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。次ページの表をご参照ください。

- 3 すべての Tebra 認証キーに対して 2 の操作を行います。

ロック解錠かつドアを開けた状態で、すべてのハンズフリーキーおよび非接触キーの登録を完了させてください。

動作状況		ランプ	ブザー
ID 登録・抹消モード中		赤色点滅	—
ハンズフリーキー 認証時	1ID	最初のブザーが 鳴ってから3秒後に 緑色点灯 (1.5秒)	ピッ…ピッ
	2ID		ピッ…ピピッ
	3ID		ピッ…ピピピッ
	4ID		ピッ…ピピピピッ
	5ID		ピッ…ピーピッ
	6ID		ピッ…ピーピピッ
	7ID		ピッ…ピーピピピッ
8ID	ピッ…ピーピピピピッ		
非接触キー 認証時			ピピッ…***※1
認証異常		赤色点滅 (3回)	ピー
登録件数エラー (8 ID 登録済み)		赤色・緑色が交互に点滅 (3回)	ピー—

※1：非接触キーの場合は登録件数により「***」の部分が異なりますが、本表では省略させていただきます。

Tebra 認証キーの ID 情報の登録確認

1 制御部の登録ボタンを押し、ID 登録・抹消モードを終了します。

- ・ “ピッ” とブザーが鳴り、ID 登録・抹消モードが終了します。
- ・ 15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に ID 登録・抹消モードが終了します。

動作状況	ランプ	ブザー
ID 登録・抹消モード終了	—	ピッ

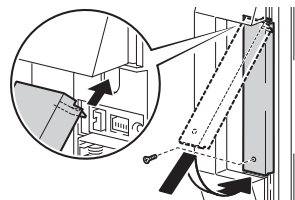
2 ID 情報を登録したすべての Tebra 認証キーで施錠／解錠操作を行い、正常に作動することを確認します。

(ハンズフリーキー： [9ページ](#)▶、非接触キー： [11ページ](#)▶)

確認する認証キー以外は作動範囲内（リーダ部から2m以内）に置かないでください。作動範囲内に複数の認証キーがある場合、確実な登録確認が行えません。

3 カバーを元にもどします。

カバー上部のツメを差し込み、浮いている側を本体にはめこみ、ネジを締めこみます。



エントランスも Tebra 認証キーで開閉できる物件にお住まいのお客様へ

Tebra 認証キーの再登録を行った場合、エントランス用の制御盤も登録をやり直す必要があります。速やかにエントランス用の制御盤への再登録を行ってください。（エントランス用の制御盤への再登録は、弊社サービス代行店までご連絡ください）

警備連動機能は家屋侵入を完全に防止するものではありません。
万が一の場合の保証はございませんので、ご了承ください。

本機能は、警備会社の警備システムをセット／解除する機能です。警報発報信号は、管理事務室・契約警備会社などへ発信されますが、お住まいの住居の契約状況により異なります。詳細は、建物の管理責任者・管理会社へご確認ください。



注意

- アナログキーによる警備解除の可否につきましては、お住まいの住居の契約状況により異なるため、契約警備会社にお問い合わせください。
- 万一、停電時またはハンズフリーキーの電池切れ、紛失、非接触キーの紛失などにより警備連動機能が解除できない場合は、建物の管理責任者・管理会社または警備会社に連絡してください。

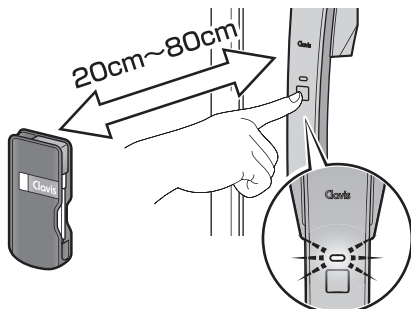
ハンズフリーキーによる警備連動機能セット／解除

セットのしかた

1 ハンズフリーキーを持っていることを確認し、ドアを閉めます。

2 認証ボタンを押し、施錠します。施錠動作後も認証ボタンを2秒以上、押し続けます。

- “ピピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。
- ブザーが鳴る前にボタン操作を中断したり、ハンズフリーキーを外周リーダの登録検知範囲（約80cm以内）より外に持ち出さないでください。認証異常となり、警備連動機能がセットできない場合があります。
- ハンズフリーキーの電池切れ警告時、警備連動機能がセットできない場合があります。



3 警備連動機能がセット完了すると、ランプ（緑色）が3回、点滅します。

解除のしかた

1 ハンズフリーキーを使用し、電氣的な解錠をします。（9ページ）

2 電氣的な解錠と同時に警備連動機能が解除されます。



非接触キーによる警備連動機能セット／解除

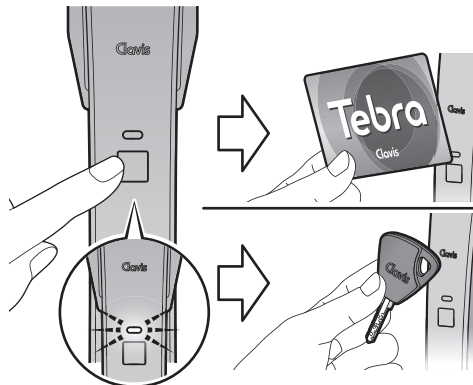
セットのしかた

1 非接触キーを持っていることを確認し、ドアを閉めます。

2 認証ボタンを押し、「Clavis」マーク部分に非接触キーをかざし施錠します。施錠動作後も継続して非接触キーを2秒以上、かざし続けます。

- “ピピピッ”とブザーが鳴るまで非接触キーを「Clavis」マークから1cm以上、離さないでください。
- ブザーが鳴る前に非接触キーを「Clavis」マークから離さないでください。認証異常となり、警備連動機能がセットできない場合があります。

3 警備連動機能がセット完了すると、ランプ（緑色）が3回、点滅します。

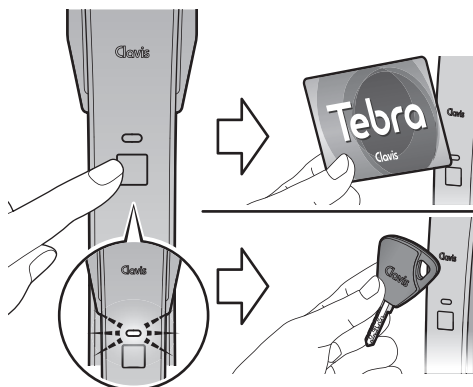


解除のしかた

1 非接触キーを使用し、電氣的な解錠をします。

(11ページ➡)

2 電氣的な解錠と同時に警備連動機能が解除されます。



動作状況	ランプ	ブザー
施錠（電池少）	緑色点灯（1.5秒）後、橙色点灯、赤色点灯、 橙色点灯、赤色点灯、橙色点灯	ピッ…ピーピー
解錠（電池少）	赤色点灯（1.5秒）後、橙色点灯、赤色点灯、 橙色点灯、赤色点灯、橙色点灯	ピピッ…ピーピー

電池交換後は、電池切れ警告が現れないことを確認してください。

⚠ 危険

電池および取りはずした部品をお子さまに触らせたり、誤って飲み込んだりしないよう、十分注意してください。

⚠ 注意

- 本体の電池寿命は約1年間（施錠／解錠を1回として、1日10回使用した場合）ですが、電池切れにならなくても1年ごとに新しい電池と交換してください。
電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- 乾電池を交換するときは、単三アルカリ乾電池を4本同時に交換してください。
 - ・新しい電池と古い電池を混用しないでください。発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。
 - ・古い電池を本体に入れたままにしておくと、発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。すぐに本体から取りはずしてください。
 - ・指定以外の電池を使用すると、電池寿命が短くなる、機器の誤作動、または故障の原因になります。
- 電池の極性（+）（-）を逆に入れないでください。
本体が作動しないだけでなく、ショートによる発熱、液漏れにより故障の原因となる場合があります。
- 電池が液漏れしたときは、素手で触らないでください。
 - ・液が目に入ったときは失明のおそれがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
 - ・液が体や衣服に付いた時は、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
- 電池交換する際は、一度ドアノブなどの金属物を触って静電気を逃がしてから行ってください。また、セーターなど静電気がたまりやすい衣類を着たまま行わないでください。
静電気を体内に帯電させた状態で電池交換を行うと、故障するおそれがあります。
- 電池交換は電子部品保護のため、濡れた手、汚れた手で行わず、必ず次ページの方法にしたがって行ってください。
- 乾電池は落下させないでください。落下させるなど電池に打痕等の損傷があった場合、電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。

電池が消耗してくると、電池切れ警告（18ページ）が現れます。その場合は速やかに電池を交換してください。

使用電池：単三アルカリ乾電池 4本

電池はカメラ店、コンビニエンスストア、家電販売店などで買い求められます。

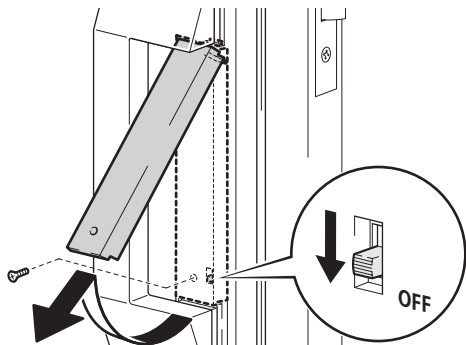
電池交換のしかた

取りはずした部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

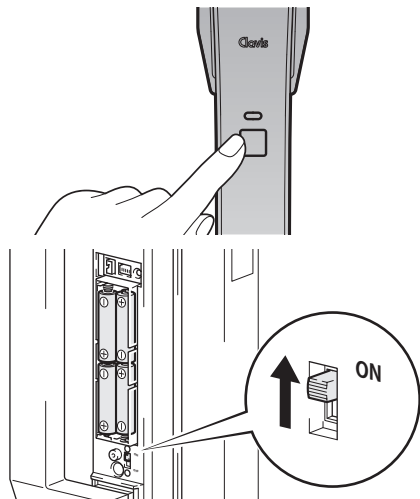
- 1** 一度ドアノブなどの金属物に触って、体内の静電気を逃がします。
- 2** 室内側から電池内蔵部のカバーを取りはずします。
 - ・ ネジを取りはずします。
 - ・ カバーの下側を手前に引き、取りはずします。
- 3** 電源スイッチを OFF にして、古い電池を取りはずします。

下側の電池から取りはずします。
- 4** 認証ボタンを 1 回押します。

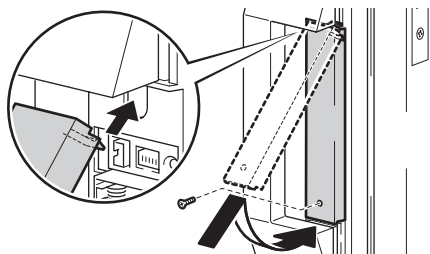
電池残量の警告機能をリセットします。



- 5** 新しい電池を差し入れ、電源スイッチを ON にして、動作確認をします。
 - ・ 上側の電池から差し入れます。
 - ・ 電池の極性 (+) (-) に注意してください。



- 6** カバーを元にもどします。
 - ・ ツメを差し込み、浮いている側を本体にはめこみます。
 - ・ ネジを締め込みます。



ハンズフリーキーの電池切れ警告について

ハンズフリーキーの電池残量が少なくなると、以下のように動作確認ランプでお知らせします。電池残量無の場合、ハンズフリー認証はできませんが、内蔵されている IC チップで非接触認証ができます。

動作状況	ランプ	ブザー
施錠／解錠 (ハンズフリーキー電池少)	ハンズフリーキーの動作確認ランプが赤色点灯 (0.5 秒)	—
施錠／解錠 (ハンズフリーキー電池残量無)	ハンズフリーキーの動作確認ランプは点灯しません。	—

電池交換後は、電池切れ警告が現れないことを確認してください。



危険

電池および取りはずした部品をお子さまに触らせたり、お子さまが飲み込んだりしないよう、十分注意してください。



注意

- ご入居の際に渡されたハンズフリーキーに内蔵されている電池は、動作確認用の電池です。
はじめてお使いになる前に電池交換されることをおすすめします。
- 指定の電池 (コイン型リチウム電池 CR2032) をご使用ください。
- ハンズフリーキーの電池寿命は約 2 年間 (施錠／解錠を 1 回として、1 日 10 回使用した場合) ですが、電池切れにならなくても 2 年ごとに新しい電池と交換してください。
電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- ハンズフリーキーは常時電波を受信しているので、全く使用しない場合でも電池を消耗します。また、強い電波を受信し続けた場合に電池を著しく消耗することがありますので、テレビ・パソコンなどの家電製品の近くに長時間放置しないでください。
- 電池交換する際は、一度ドアノブなどの金属物を触って静電気を逃がしてから行ってください。また、セーターなど静電気がたまりやすい衣類を着たまま行わないでください。
静電気を体内に帯電させた状態で電池交換を行うと、ハンズフリーキーの部品が故障するおそれがあります。
- 電池交換は電子部品保護のため、濡れた手、汚れた手で行わず、必ず次ページの方法にしたがって行ってください。

ハンズフリーキーの電池交換

電池が消耗してくると、電池切れ警告（20 ページ）が現れます。その場合は速やかに電池を交換してください。

使用電池：コイン型リチウム電池 CR2032

電池はカメラ店、家電販売店などでお買い求めになれます。

電池交換のしかた

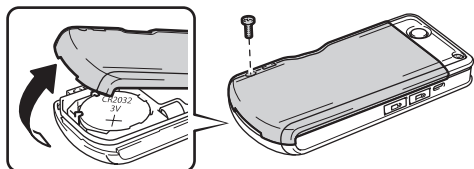
取りはずした部品を紛失、破損に注意しながら行ってください。

1 一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。

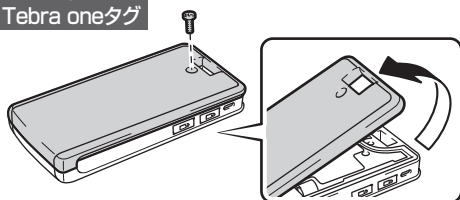
2 裏面のネジを取りはずし、カバーを取りはずします。

1番のプラスドライバーを使用してください。(ホームセンターなどでお買い求めになれます)

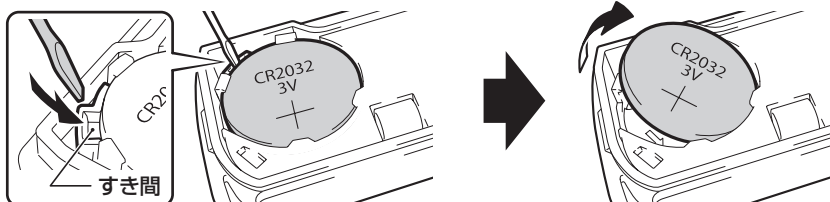
Tebraキー
Tebra oneキー 溝部にコインなどを差し込み取りはずす



Tebraタグ
Tebra oneタグ

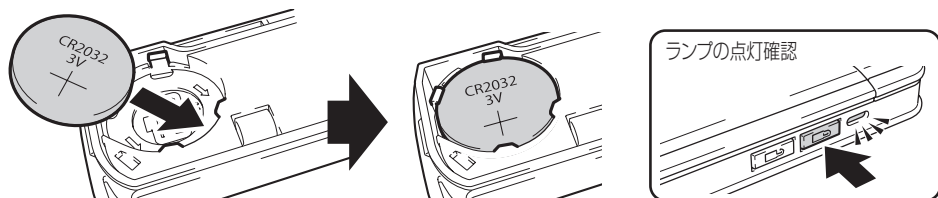


3 ドライバーなどをすき間に差し込み、起こすようにして古い電池を取りはずします。



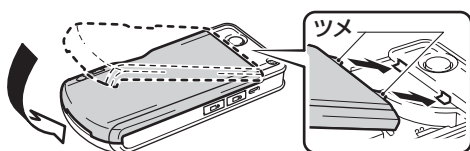
4 新しい電池を差し入れ、動作確認をします。

(+) が上になるように取り付けます。

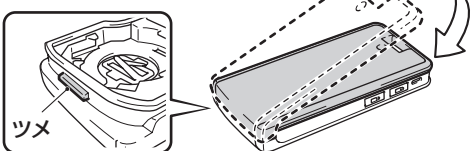


5 カバーを元にもどし、ネジを締め込みます。

Tebraキー
Tebra oneキー ツメを差し込み、浮いている側をキー本体に「パチン」と音がするまではめ込む



Tebraタグ
Tebra oneタグ ツメを合わせて閉める



本体の電源供給の特性

Tebra cell	電池の消耗に伴い、動作が遅くなっていきます。 動作に必要な電池残量を下回った場合は、施錠／解錠動作後、電池切れ警告をします。(18ページ)
Tebra plug	停電やブレーカーを落とした場合など、電源供給が停止すると、動作できません。(電池は使用しません)

 注意	Tebra plug は停電時、使用できません。手動操作でロックを施錠／解錠してください。(23ページ)
--	--

Tebra 認証キーを紛失した場合

対処のしかた



注意

防犯上、Tebra 認証キーを紛失されたときは、速やかに Tebra 認証キーの再登録（ID 情報の抹消）を行ってください。（12～15 ページ）
ID 情報を抹消することで、紛失した Tebra 認証キーでは認証施錠／解錠できなくなります。

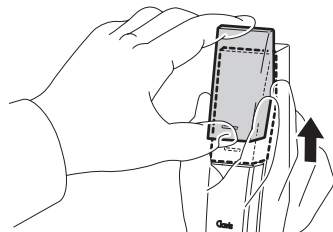
キーの追加購入について

本書末尾の保証書に記載のサービス代行店までお問い合わせください。

電池切れ・停電で作動しない場合

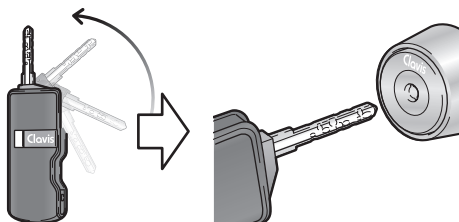
電池切れ・停電などで Tebra 認証キーによる電気錠・電池錠での施錠／解錠ができなくなった場合、手動で施錠／解錠してください。

室外側はシリンダーカバーをはずしてから施錠／解錠します。



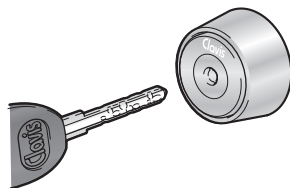
室外側（Tebra キー）

Tebra キーのアナログキー（7 ページ）をシリンダーに差し込みます。



室外側（その他の Tebra 認証キー）

キーをシリンダーに差し込みます。



故障かな？とお考えになる前に

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、弊社サービス代行店にご連絡ください。

全体項目

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
リーダ部の認証ボタンを押しても作動しない。 ・ランプがオレンジ色点滅し、“ピーピー”とブザーが鳴った。 ・リーダ部のランプが点灯しない。	電源スイッチが OFF になっている。	電源スイッチを ON にしてください。	6 19
	Tebra plug A 停電などによりシステムに電源が供給されていない。	ブレーカーが落ちていないか確認してください。他の電気機器などの作動も確認してください。	—
	Tebra cell A 本体の電池切れです。	新しい電池に交換してください。(単三アルカリ乾電池 4本)	19
施錠／解錠ができない。	ドアが完全に閉まりきっていない。	ドアを閉めてください。	—
	室内換気を行っている。	室内の圧力差による現象です。(故障ではありません)	3
施錠／解錠時、リーダ部のランプが赤色点灯(4秒)し、“ピー”とブザー(3秒)が鳴り続けた。	ドアの施錠／解錠異常です。	ドアがしっかり閉まっていることを確認し、再度 Tebra 認証キーを使用し、施錠／解錠確認をしてください。 (サムターンを使用しても施錠／解錠できない場合は、ドア全体の調整が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社、施工業者または建具メーカーに連絡してください)	—
連動施錠されない。	Tebra plug A 停電または下側のロックを手動施錠した。	停電時以外は Tebra 認証キーで施錠するか、上側のロックを手動施錠してください。(停電時は連動施錠されません)	4
	Tebra cell A 本体の電池切れまたは下側のロックを手動施錠した。	電池が切れたとき以外は Tebra 認証キーで施錠するか、上側のロックを手動施錠してください。(電池が切れたときは連動施錠されません)	4

ハンズフリーキー

状態	考えられる原因	処置	参照ページ	
リーダ部の認証ボタンを押しても作動しない。	ハンズフリーキーが作動範囲にない。	ハンズフリーキーを持っているか確認してください。	8	
	ハンズフリーキーに電池が入っていない。	電池を入れてください。(コイン型リチウム電池 CR2032)	21	
	ハンズフリーキーが6秒以上、静止している。	ハンズフリーキーを揺らしながら操作してください。	4	
	ハンズフリーキーの電池残量が少ない。(電池残量が少ないときは、動作ランプでお知らせします 20ページ)	新しい電池に交換してください。(コイン型リチウム電池 CR2032)		21
		タッチ操作で施錠／解錠してください。		11
		アナログキーで施錠／解錠してください。		6,7 23
	複数のハンズフリーキーを作動範囲内で同時に使用している。	ハンズフリーキーは1つだけ使用してください。		2
ハンズフリーキーが登録されていない。	ハンズフリーキーを登録してください。(ID情報を抹消した場合、すべてのハンズフリーキーの再登録が必要です)		14	
ハンズフリーキーのID情報の抹消・再登録ができない。	ID登録・抹消モードになっていない。	ID登録・抹消モードにしてください。	12	
ハンズフリーキーのID情報の抹消ができない。	リーダ部の認証ボタンを2秒以上、押し続けていない。	“ピッ・ピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	12	
ハンズフリーキーが登録ができない。	リーダ部の登録検知範囲内でハンズフリーキーの施錠ボタンを2秒以上、押し続けていない。	リーダ部の登録検知範囲内で“ピッ…ピッ”とブザーが鳴るまで登録ボタンを押し続けてください。	14	
	最大登録数(8個)を超えている。	—	12	

故障かな？とお考えになる前に（続き）

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
Tebra plug A Tebra cell A タッチ操作による施錠／解錠ができない。	ICチップの登録がされていない。	ICチップの登録をしてください。	14
Tebra plug A Tebra cell A タッチ操作による動作確認ができない。	先にハンズフリー登録をしている。	ハンズフリー登録の前にICチップの登録・動作確認をしてください。	14

非接触キー

Tebra plug A Tebra cell A

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
施錠／解錠ができない。	非接触キーをリーダ部に正しくかざしていない。	非接触キーの認証範囲とリーダ部の「Clavis」マークを目安に合わせてかざします。	11
	複数のTebra認証キーを同時に使用している。	Tebra認証キーは1つだけ使用してください。	2
	非接触キーが登録されていない。	非接触キーを登録してください。(ID情報を抹消した場合、すべての非接触キーの再登録が必要です)	14
非接触キーのID情報の抹消・再登録ができない。	ID登録・抹消モードになっていない。	ID登録・抹消モードにしてください。	12
非接触キーのID情報の抹消ができない。	リーダ部の認証ボタンを2秒以上、押し続けていない。	“ピッ・ピッ”とブザーが鳴るまで認証ボタンを押し続けてください。	12
非接触キーの登録ができない。	リーダ部の「Clavis」マークに、非接触キーを2秒以上、かざし続けていない。(約1cm以内)	“ピッ…ピッ”とブザーが鳴るまで非接触キーをかざし続けてください。	14

Tebra 認証キー共通

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
Tebra 認証キーの登録ができない。	最大登録数（16 個）を超えている。	—	12
施錠／解錠ができない。	ID 登録・抹消モードになっている。	ID 登録・抹消モードを終了してください。	15

警備連動機能

Tebra plug

オプション

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
ハンズフリーキーで警備連動機能がセットできない。	リーダ部の認証ボタンを 2 秒以上、長押ししていない。	“ピピピッ” とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	16
	リーダの登録検知範囲（約 80cm 以内）外にハンズフリーキーを持ち出した。	リーダの登録検知範囲内で“ピピピッ” とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	16
	ハンズフリーキーの電池残量が少ない。	新しい電池に交換してください。（リチウム電池 CR2032）	21
非接触キーで警備連動機能がセットできない。	リーダの「Clavis」マークに、非接触キーを 2 秒以上、かざし続けていない。（約 1cm 以内）	“ピピピッ” とブザーが鳴るまで非接触キーをかざし続けてください。	17
警備連動機能が解除できない。	アナログキー／キーで解錠した。※	Tebra 認証キーを使用し、電気的な解錠をしてください。	17
警備会社に通報された。	アナログキー／キーで解錠し、そのままドアを開けた。※	Tebra 認証キーで解錠し直し、建物の管理責任者・管理会社または警備会社に連絡してください。	17

※：アナログキー／キーによる警備解除の可否については、お住まいの住居の契約状況によって異なります。

ご使用になる前に警備会社等にお問い合わせください。

■ リーダ本体仕様

送信周波数	ハンズフリー	125.0kHz
	非接触	13.56MHz
使用電池	単三アルカリ乾電池 4本 (DC6V)	
動作電流	最大 1A	
電池寿命	約 1年※1 (施錠/解錠を 1回として 1日 10回使用した場合)	
登録可能 ID キー数	最大 16個 ※2	

※1：使用環境により電池寿命は変動します。

※2：ただしハンズフリーキーは最大 8 個までです。

■ ハンズフリーキーの仕様

使用電池	コイン型リチウム電池 CR2032 (DC3V)
送信周波数	315MHz
動作電流	最大 14mA
電池寿命	約 2年 (施錠/解錠を 1回として 1日 10回使用した場合)

■ 交信性能※3

ハンズフリー交信範囲	約 80cm
非接触交信範囲	約 1cm

※3：使用環境により交信性能は変動します。

■ 使用環境※4

使用温度範囲	- 10℃～50℃
使用湿度範囲	30～90% RH (結露/氷結無きこと)

※4：電池の種類により異なります。

保証書

この度は当社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。本保証書は、品質保証事項に記載の規定によります。保証期間内に故障した場合は下記取扱店に修理をご依頼下さい。尚、修理の際には本書をご提示下さい。

品質保証事項

1. 保証内容: 通常取り扱いによって生じる品質不良、性能及び機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの
2. 保証期間: 製品のお買い上げ日より 2 年間
 - ・ お買い上げ日を本書にご記入ください。
 - ・ サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類などを大切に保管してください。サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類が無い場合は、勝手ではありますが、当社商品に記載している年月を保証開始時期の目安とさせていただきます。
3. 保証適用地域: 保証運用範囲地域の限界は、下記サービス代行店の行動範囲内(100 km以内)とします。
この範囲を超える遠隔地及び離島・山頂等の地域へ出張により修理・交換を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
4. 免責事項: 原因が次の様な場合は保証期間内であっても有償修理となります。
 - ・ 本書の提示がない場合
 - ・ ご使用開始以前の保管・輸送・設置配線工事に起因する故障、および損傷
 - ・ 他の機器からの異常電圧・電流を受けたことによる故障、および損傷
 - ・ 電池の入れ間違い等ご使用上の間違いや破損
 - ・ 電池の交換
 - ・ コピーしたキーに起因する不具合
 - ・ 使用者もしくは第三者の誤り、または不当な修理や改造によるもの
 - ・ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法をされた場合の不具合
 - ・ 錠以外の商品または部品(扉、丁番、ドアクローザなど)に起因する錠の不具合
 - ・ 商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、磨耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)またはこれらに伴うさび、その他の不具合
 - ・ 鍵穴への異物(例えば、針金、マッチ棒など)挿入、注油、昆虫の侵入、ほこりによる不具合
 - ・ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合(例えば塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ・ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
 - ・ 犯罪などの不法な行為(ピッキング、パールの道具によるこじ開けなど)に起因する破損や不具合

上記品質保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan

消耗品(電池等)は保証対象外となります。

- ※ 本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、取扱店へお問合せ下さい。
- ※ 本書は再発行致しませんので、全てご記入のうえ大切に保管して下さい。

サービス代行店名・住所・電話番号	お買い上げ日
	年 月 日
	保証期間 お買い上げ日より 2 年間

株式会社シブタニ クラビス事業部



CP マークは官民合同会議試験に合格した製品に表示される「侵入に5分以上を要する防犯性能の高い建物部品」の共通標章です。Tebra cell-CP、Tebra plug-CP は防犯性の高い建物部品としてその試験に合格しています。

※ Tebra cell-CP、Tebra plug-CP は目録登録品で構成される場合に性能を発揮します。

※ 2 ロックの時のみ耐震ストライク採用可となります。

Clavis URL: <https://www.clavis.jp> **株式会社ラブリニ**

本サービスの最新情報は弊社 Clavis ホームページでご確認ください。



HP はこちら

No.20-08-01